

システムキッチン

レイアウト注意事項

もくじ

・キッチンを壁面に設置する場合	1
・深型ウォールコーナーユニットを使用する場合	2
・フロアコーナーユニットを使用する場合	3
・ノックダウン収納ユニットレイアウト方法 /	4
ノックダウン収納ユニットを壁面に設置する場合	
・ノックダウン収納コーナーユニットの納まり	5 ~ 6
・ノックダウン収納ユニットの扉の開きについて /	7
パイプラックコーナー用パイプの納まり	
・AI - P*****を設置する場合	8
・IV - P965(1265)Bを設置する場合	9
・アイランドキッチンの場合	10 ~ 17
・A F 対応ビルトイン機器を設置する場合 /	18
ガラスバックガードの設計条件	

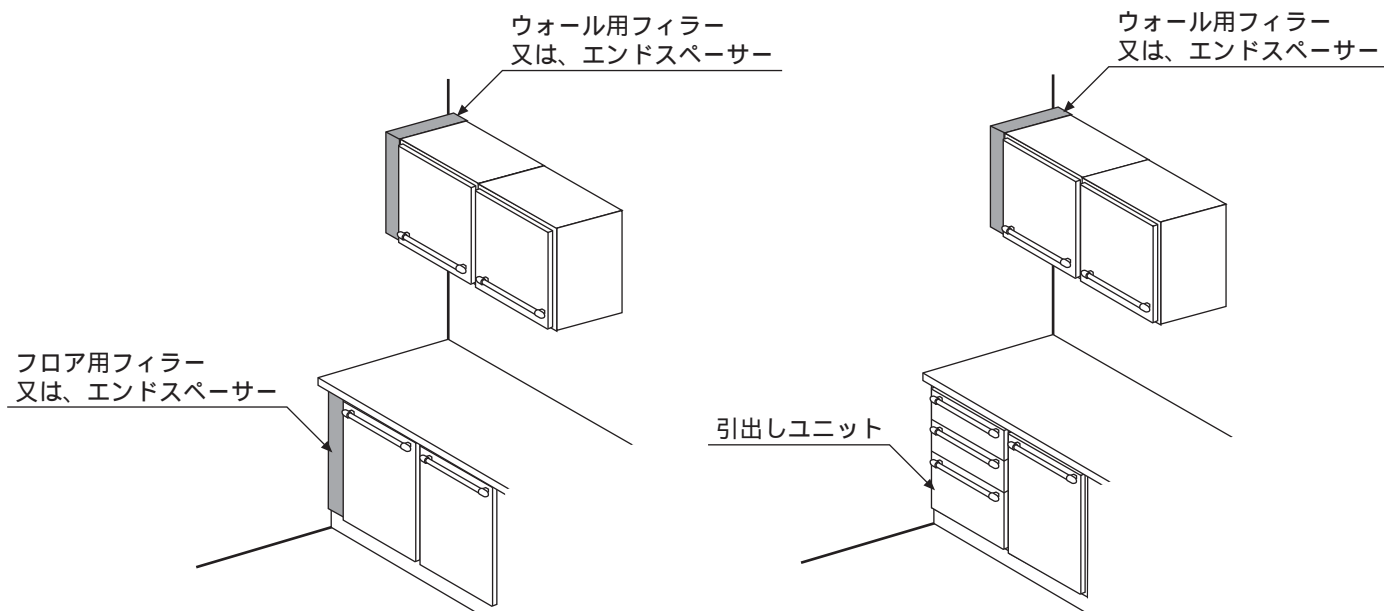


キッチンを壁面に設置する場合

キッチンを壁面に設置する場合には、フィラー又は、エンドスペーサーを使用します。

BAY ルー（ステンレス）・ルー（ゼブラ）・ルー（キリ）・ルー（ホワイト）、L-BAY エルティアーの場合には不要です。

機種	扉バリエーション	フロア用フィラー	ウォール用フィラー	エンドスペーサー
BAY	ポリヴァー	18mm 以上	18mm 以上	18mm 以上
BAY	ルー（ベンゲ） ルー（ベンゲラミナート） エピ ルーセント マイ	24mm 以上	24mm 以上	24mm 以上
L-BAY	エルエー			
BAY	ジェマ メロ サイ ペロー ドゥ クー	29mm 以上	29mm 以上	使用不可
L-BAY	エルエム エルエイチ エル エルエス	43mm 以上	43mm 以上	



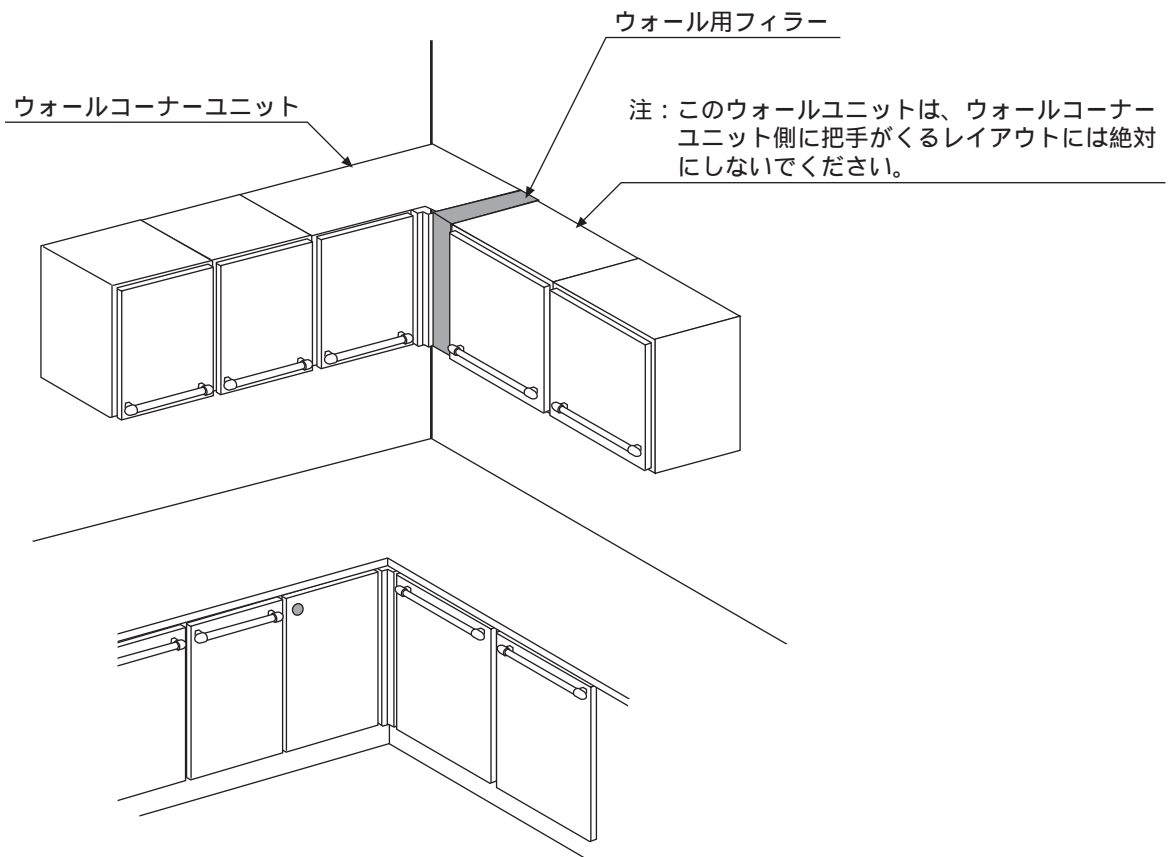
深型ウォールコーナーユニットを使用する場合

標準ウォールコーナーユニットの場合には不要です。

メロ・ジェマ・サイ・ベロー・ドゥ・クーの場合、^{とって}把手形状の関係によりコーナーユニットを使用する時に、フィラーを使用します。把手が扉等にあたり、90°以上開かなくなるためです。

BAY ルー（ステンレス）・ルー（ゼブラ）・ルー（キリ）・ルー（ホワイト）の場合には不要です。

機種	扉バリエーション	ウォール用フィラー
BAY	メロ	50mm 以上
	ジェマ サイ ベロー ドゥ クー	40mm 以上
	ルー（ベンゲ） ルー（ベンゲラミナート） エピ ルーセント マイ ポリヴァー	必要ありません



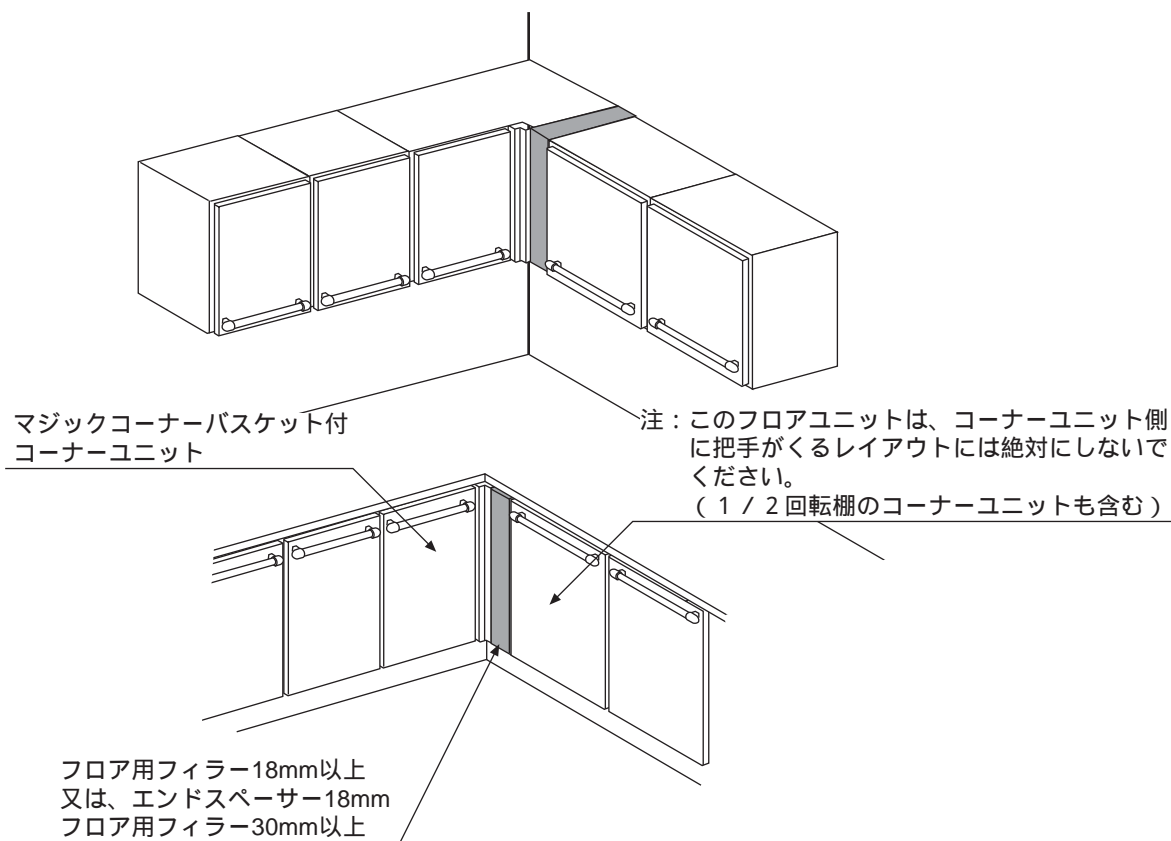
フロアコーナーユニットを使用する場合

マジックコーナーバスケット付コーナーユニットを使用する時に、把手形状の関係によりフィラー又はエンドスペーサーを使用します。把手が扉等にあたり、90°以上開かなくなるためです。

1 / 2 回転棚のコーナーユニットには不要です。

BAY ルー（ステンレス）・ルー（ゼブラ）・ルー（キリ）・ルー（ホワイト）の場合には不要です。

機種	扉バリエーション	マジックコーナーバスケット付コーナーユニットの FIX側にくるユニット	
		引出しユニット、 間口 150mm スライドユニット	その他のフロアユニット
BAY	ポリヴァー ルー（ベンゲ） ルー（ベンゲラミナート） エピ ルーセント マイ ジェマ サイ ペロー ドゥ クー	18mm 以上のフィラー またはエンドスペーサー	必要なし
	メロ		間口 300 のフロアユニットのみ 30mm 以上のフィラーが必要

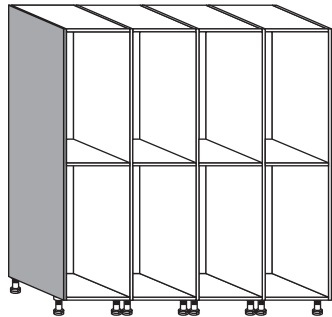


ロックダウン収納ユニットレイアウト方法

各ユニット間の側板は共通になります。

従ってユニットを組み上げる場合、1方向に1枚の側板が必要です。

(ただし、モバイルコンテナユニットを使用する場合は、標準ユニットと共通側板にはなりませんので、専用の側板が必要となります。)

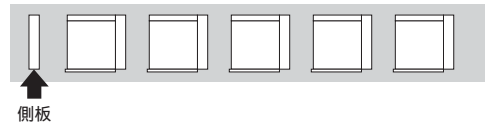


側板：P4SDSP1- 219

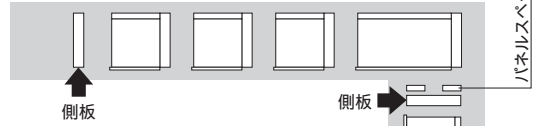
(t=18mm)

D=705mm : 70
D=555mm : 55
D=405mm : 40

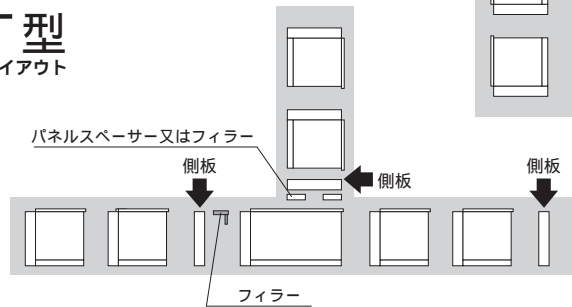
I型
レイアウト



L型
レイアウト



T型
レイアウト

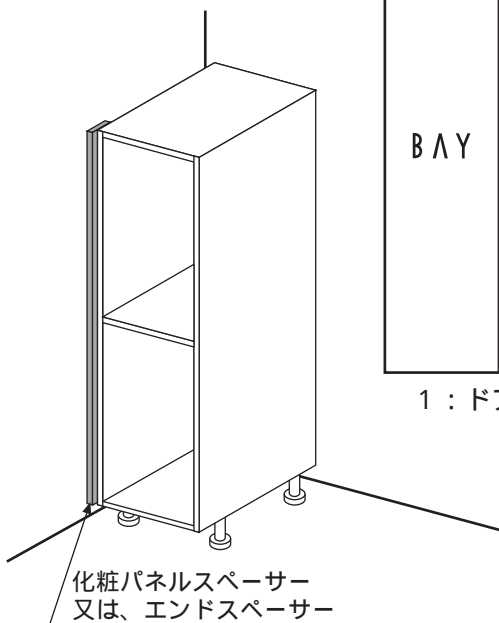


ロックダウン収納ユニットを壁面に設置する場合

収納ユニットを壁面に設置する場合

収納ユニットを壁面に設置する場合には、化粧パネルスペーサー又は、エンドスペーサーを使用します。

BAY ルー（ゼブラ）・ルー（キリ）・ルー（ホワイト）の場合には不要です。



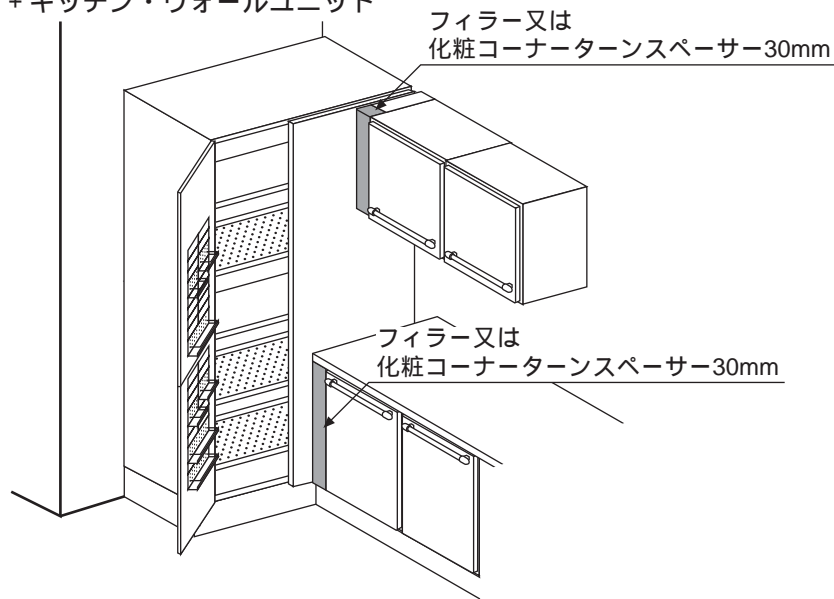
化粧パネルスペーサー
又は、エンドスペーサー

機種	扉バリエーション	引出しインナーパーツを使用しない場合		引出しインナーパーツを使用する場合
		化粧パネルスペーサー	エンドスペーサー	
BAY	ポリヴァー ルー（ベンゲ） ルー（ベンゲラミナト） エピソード ルーセント マイジェマ メロサイ ベロー ドゥケー	使用可	18mm	壁側使用不可 (1)

1：ドアポケット付ユニットに引出しインナーパーツを使用する場合は壁側不可。

ノックダウン収納コーナーユニットの納まり 1

収納コーナーユニット+キッチン・ウォールユニット



ノックダウン収納コーナーユニットの納まり 2

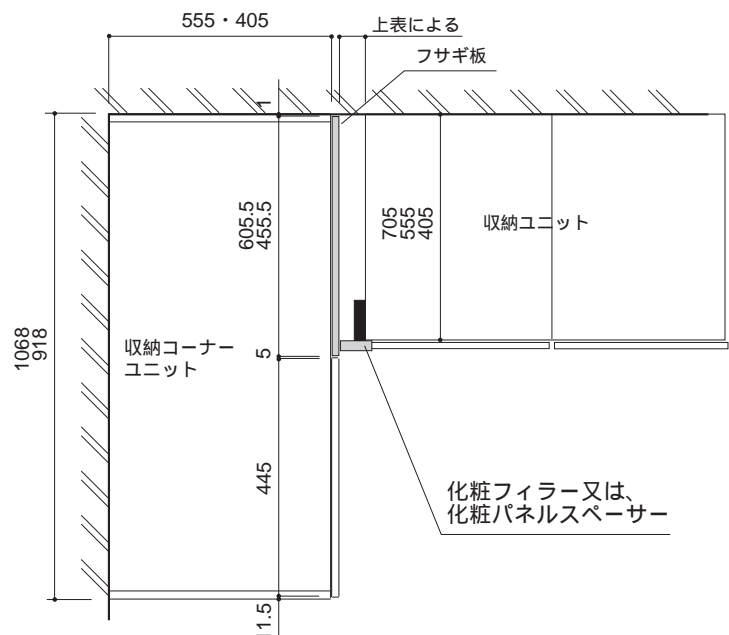
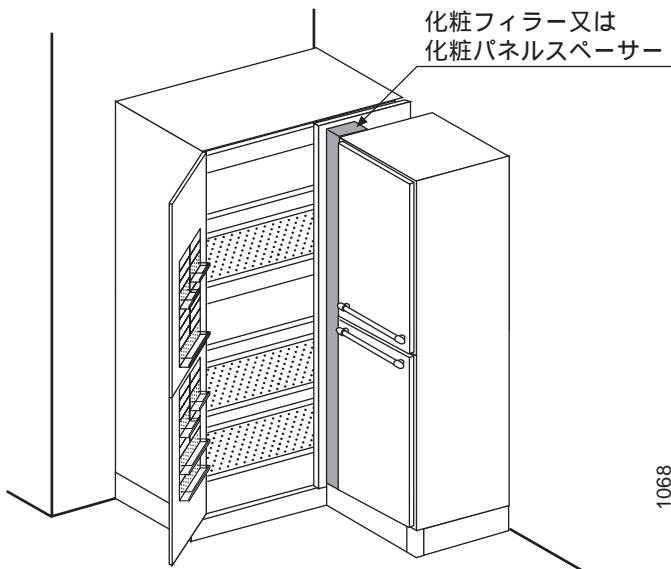
収納ユニットどうしてコーナーを作る場合

把手形状の関係により収納コーナーユニットを使用する時に、化粧フィラー又は、化粧パネルスペーサーを使用します。把手が扉等にあたり、90°以上開かなくなるためです。

BAY ルー（ゼブラ）・ルー（キリ）・ルー（ホワイト）の場合には不要です。

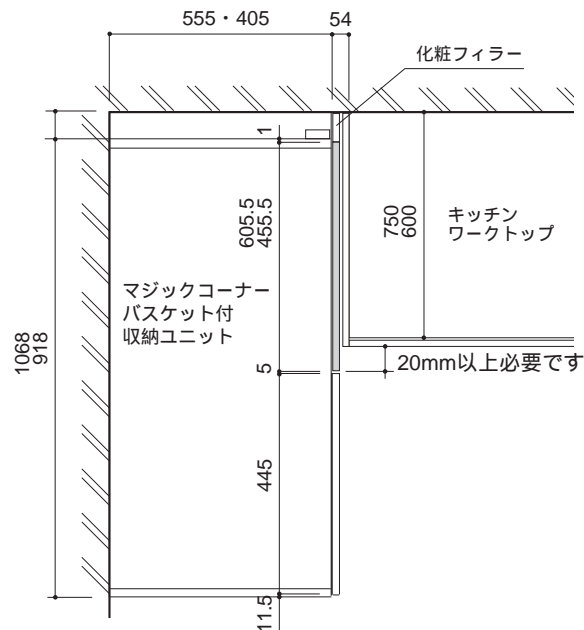
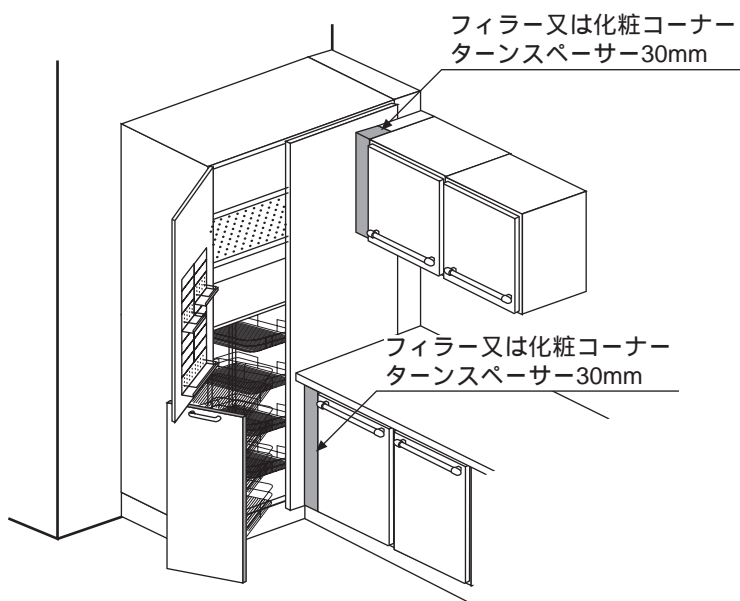
収納コーナーユニット+収納ユニット

機種	扉バリエーション	化粧フィラー	化粧パネルスペーサー
BAY	ポリヴァー ルーセント	20mm 以上	使用可
	ルー（ベンゲ） ルー（バンガラミナト） エピ マイ ジェマ	30mm 以上	
	サイ	50mm 以上	
	メロ ベロー ドゥ クー	60mm 以上	



ノックダウン収納コーナーユニットの納まり3 (マジックコーナーバスケット付)

マジックコーナーバスケット付収納ユニット+キッチン・ウォールユニット



ノックダウン収納コーナーユニットの納まり4 (マジックコーナーバスケット付)

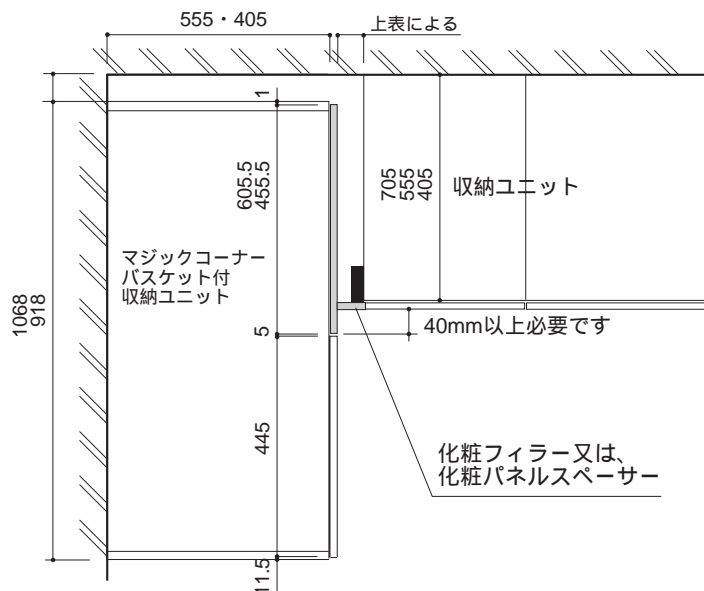
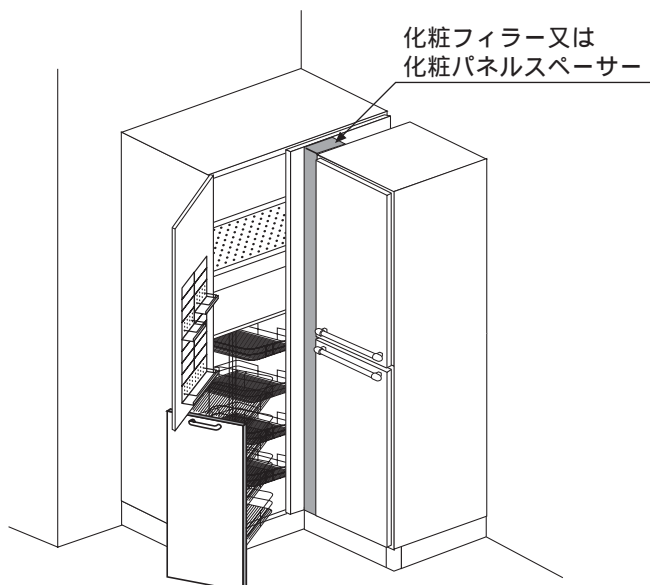
収納ユニットどうしてコーナーを作る場合

把手形状の関係により収納コーナーユニットを使用する時に、化粧フィラー又は、化粧パネルスペーサーを使用します。把手が扉等にあたり、90°以上開かなくなるためです。

BAY ルー(ゼブラ)・ルー(キリ)・ルー(ホワイト)の場合には不要です。

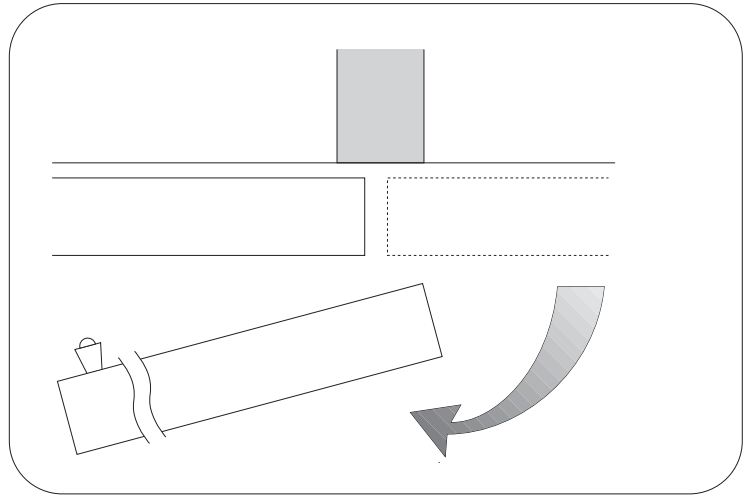
マジックコーナーバスケット付収納ユニット+収納ユニット

機種	扉バリエーション	化粧フィラー	化粧パネルスペーサー
BAY	ポリヴァー ルーセント	20mm 以上	使用可
	ルー(ベンゲ) ルー(ベンゲラミナト) エピ マイ ジェマ	30mm 以上	
	サイ	50mm 以上	
	メロ ベロー ドゥ クー	60mm 以上	使用不可

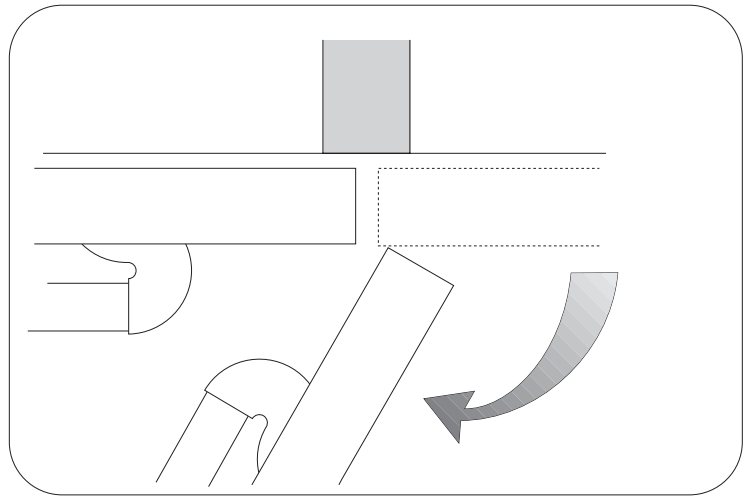


ノックダウン収納ユニットの扉の開きについて

扉の吊り元側にくるユニットは、開き扉とは、逆開きにしてください。把手が扉に当たって、完全に開かない恐れがあります。

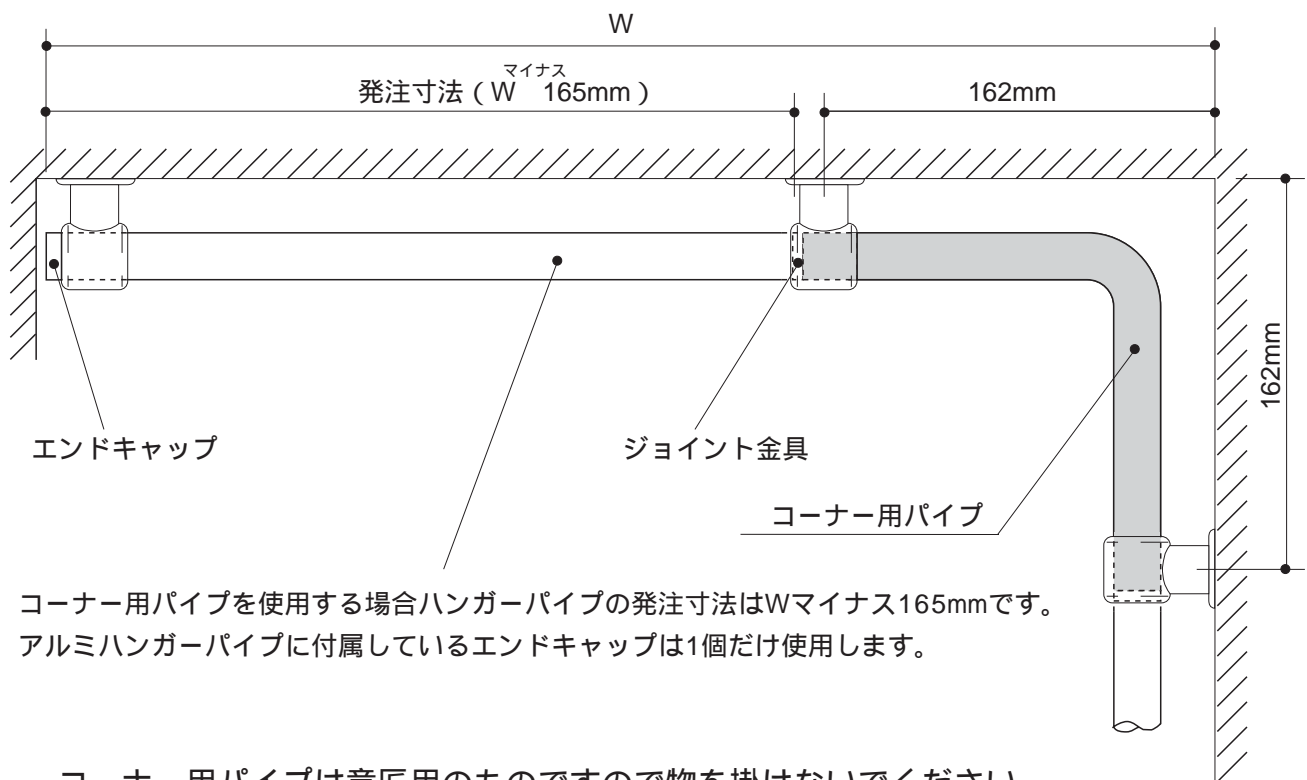


但し、ペローIIは120°程度までしか開けることができません。



パイラックコーナー用パイプの納まり

パイラックコーナー用パイプ取付詳細図



コーナー用パイプを使用する場合ハンガーパイプの発注寸法はWマイナス165mmです。
アルミハンガーパイプに付属しているエンドキャップは1個だけ使用します。

コーナー用パイプは意匠用のものですので物を掛けないでください。

AI-P*****を設置する場合

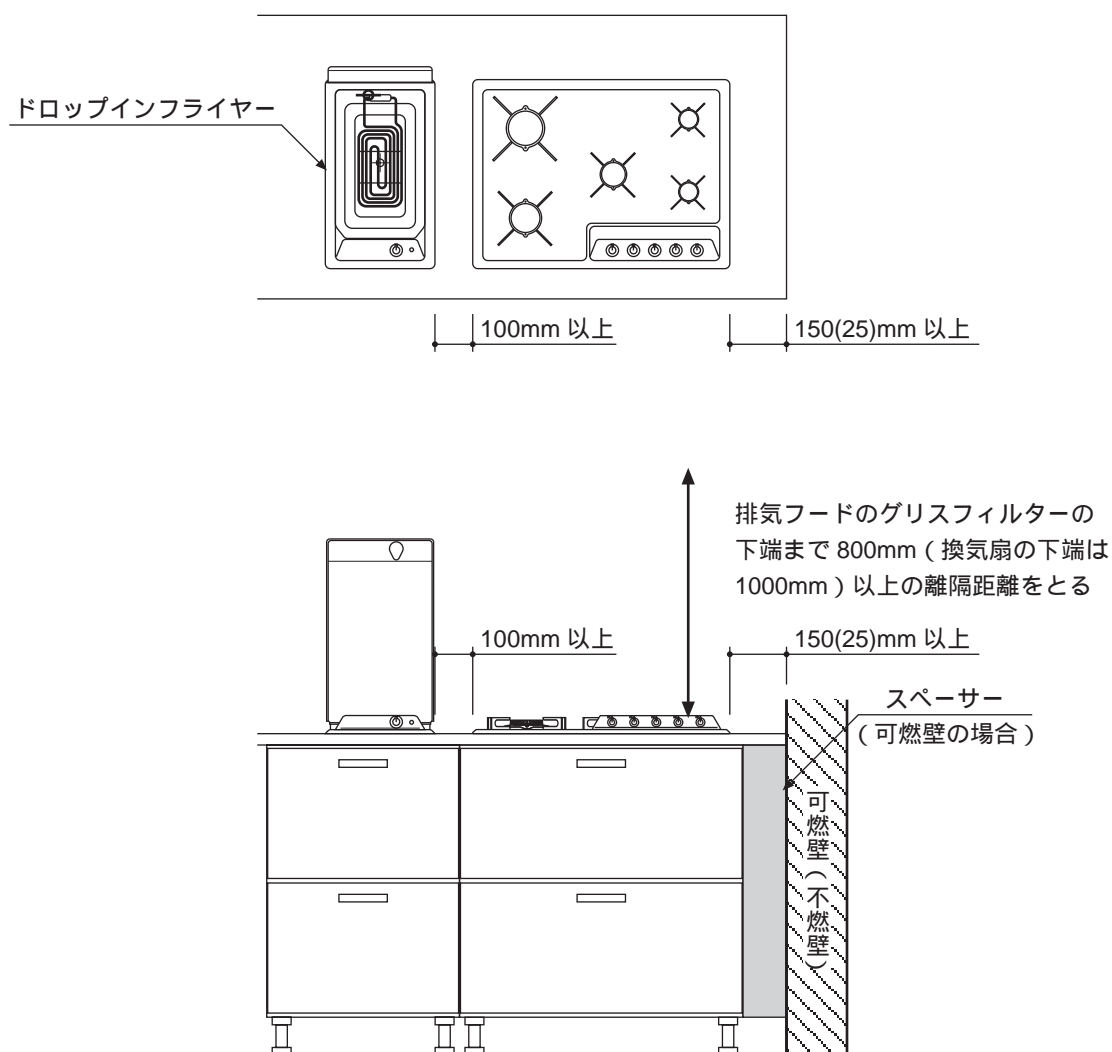
可燃材料、難燃材料または、準不燃材料による仕上げをした場合、壁から機器本体まで 150mm 以上の離隔距離をとってください。

() 内は不燃板または、防熱板を取付けた場合の寸法を示します。

機器のごとく (AI-P5029FRE の場合はトッププレート) から排気フードのグリスフィルターの下端まで 800mm (換気扇の下端まで 1000mm) 以上の離隔距離をとってください。

ドロップインフライヤー (AI-P5029FRE) を設置する場合は、他の加熱機器から 100mm 以上離してください。

冷房装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所には設置しないでください。



IV - P965(1265)B を設置する場合

可燃材料、難燃材料または、準不燃材料による仕上げをした壁面の場合、壁から機器本体まで 150mm 以上の離隔距離をとってください。

不燃材料による仕上げをした壁面または、防熱板を取付けた場合は、壁から機器本体まで 30mm の離隔距離をとってください。

ロータイプの場合、機器本体から段落ちしたトップの端まで 150mm 以上の離隔距離をとってください。

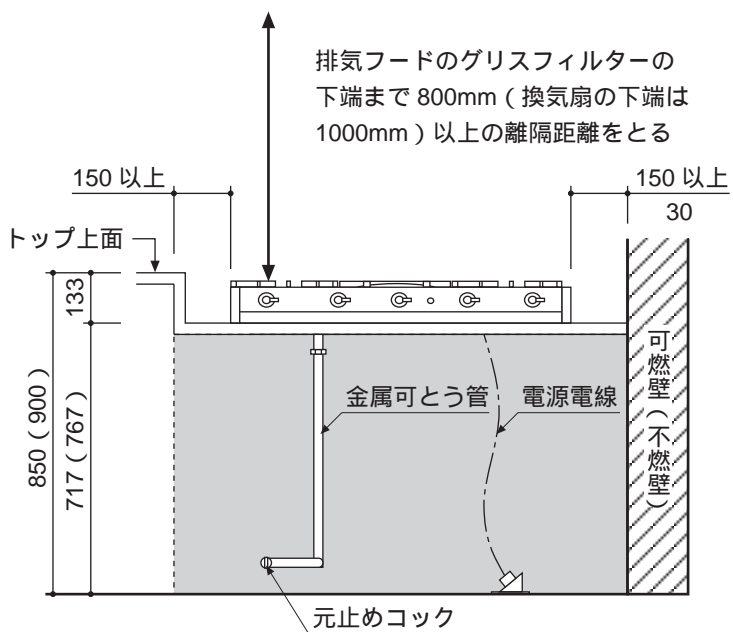
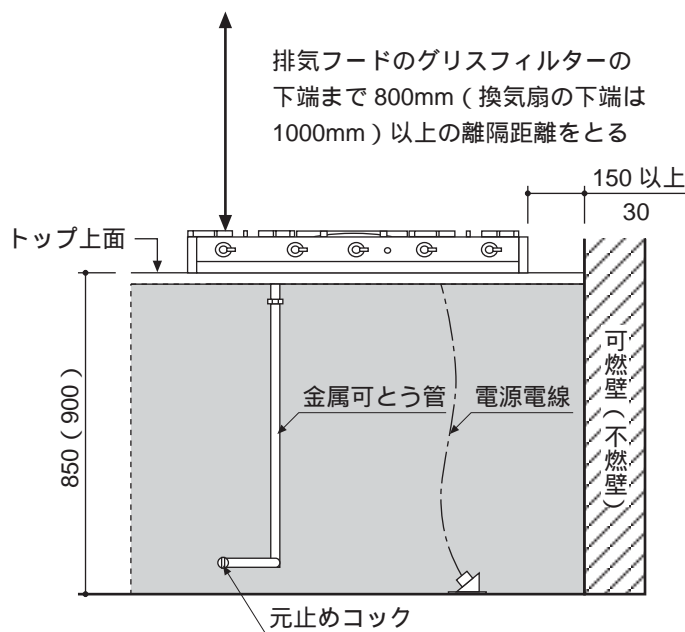
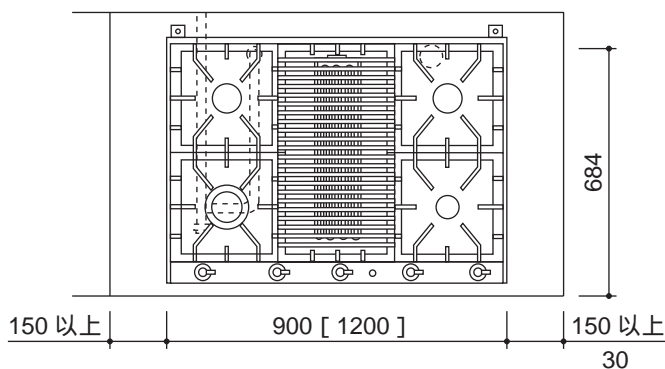
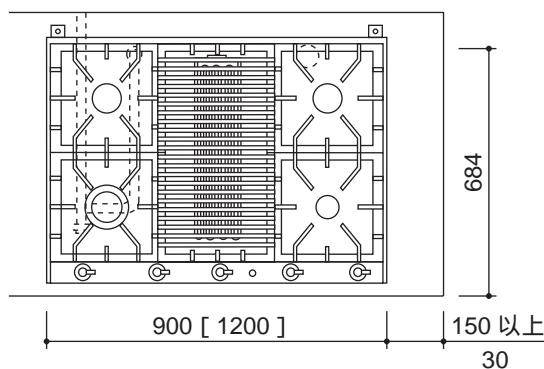
機器のごとくから排気フードのグリスフィルターの下端まで 800mm (換気扇の下端まで 1000mm) 以上の離隔距離をとってください。

ガス配管、電気配線はトップより下面で行ってください。

冷房装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所には設置しないでください。

【H = 850 / 900 ワークトップ】

【ロータイプ】



【単位：mm】

図は IV - P965B を示す。

[] 内寸法は、IV - P1265B の場合を示す。

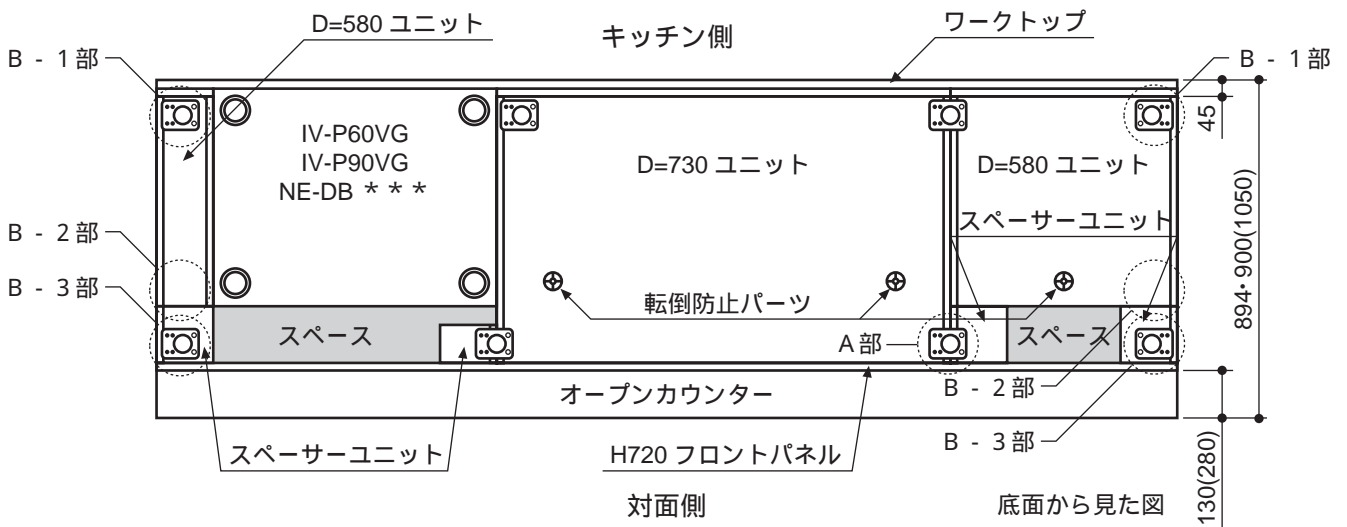
() 内寸法は、AF 仕様【H=150】の場合を示す。

内寸法は、不燃板または、防熱板を取付けた場合を示す。

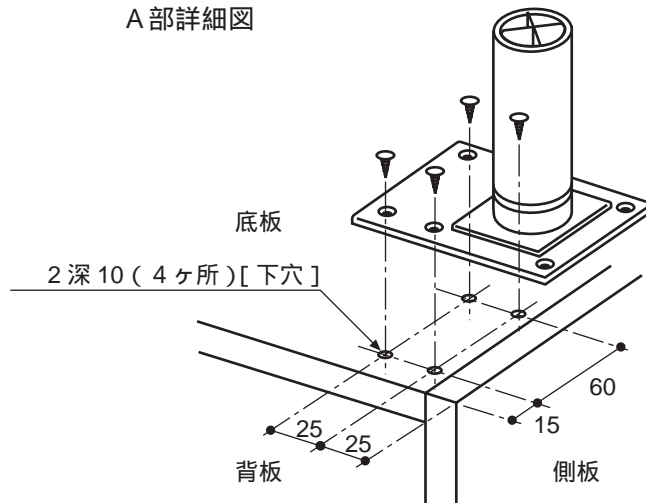
アイランドキッチンレイアウト注意事項

1. アイランドキッチンには専用ユニットが存在するため、設置方法、配置方法にご注意ください。
2. キッチン全体の両端に限り、前端と後ろ端の2ヶ所にのみアジャスターを取付けます。
 その他の場合は、ユニット全体の奥行きが705mm以内のレイアウトの場合には、奥行き方向に2本、ユニット全体の奥行きが706mm以上のレイアウトの場合には、奥行き方向に3本のアジャスターを取付けます。(詳細については以降のレイアウト例を参照してください。)
 B - 2部にもユニットに下穴が開いていますが、アイランドキッチンの両端では、B - 1部とB - 3部のみにアジャスターを取付けます。
3. 対面側がオープンカウンターになる場合、下記A部のアジャスターについてはユニットに下穴が開いていない所へアジャスターを取付けなければなりません。また、D=750 アイランドキッチンの場合にも同様の施工が必要になる場合があります。A部詳細図を参照して、施工現場で下穴を開けて、アジャスターを取付けてください。
4. アイランドキッチン、ペニンシュラーキッチンの場合、引出し開閉時の転倒防止のため、ユニットの底板と床に対して、フロントパネルやアイランドユニットに付属されている転倒防止パーツを取付けてください。(転倒防止パーツはW=1200ユニットに2個、W=300~W=900ユニットに1個取付けてください。W=150ユニット、プルオープン食洗機付きユニット、A F対応ビルトイン機器には取付けません。)

例)

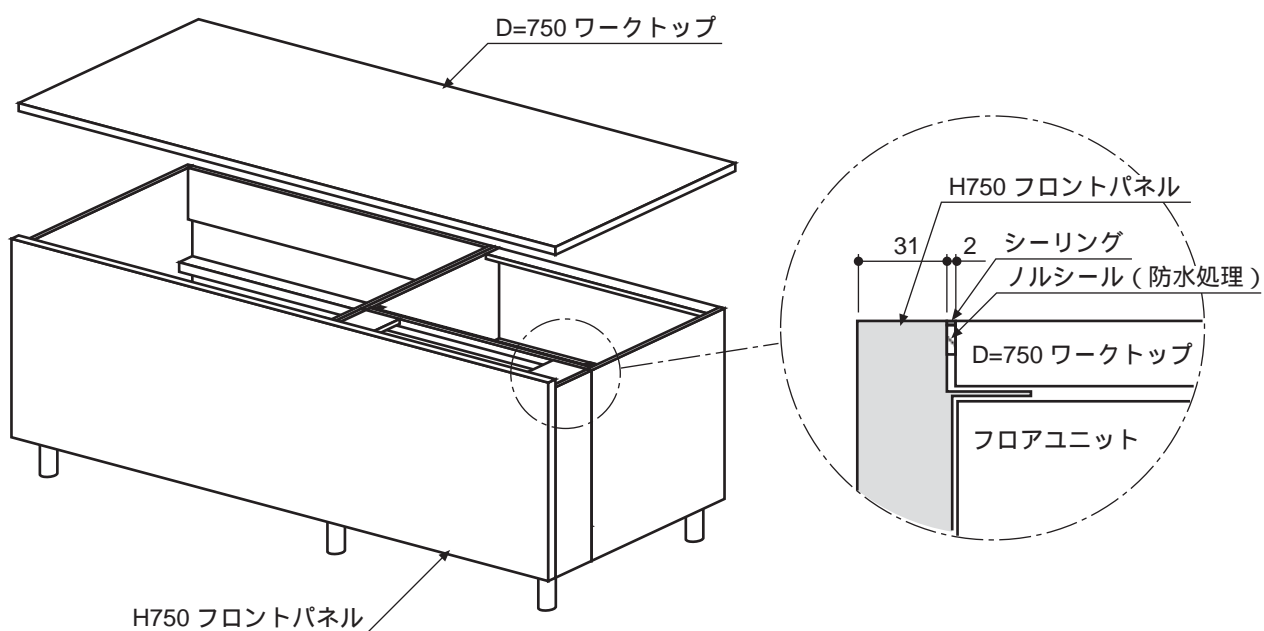


A部詳細図

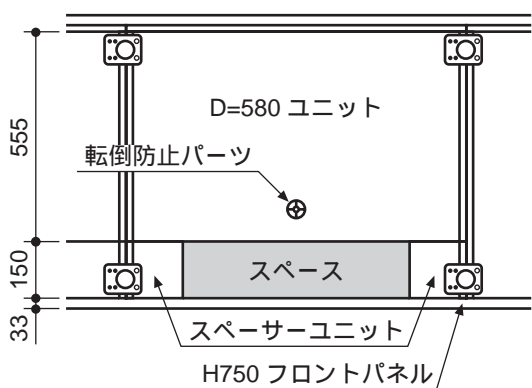


D=750 アイランドキッチンの場合

D=750 ワークトップの背面が壁に接しない場合、必ず H750 フロントパネルを取付けてください。

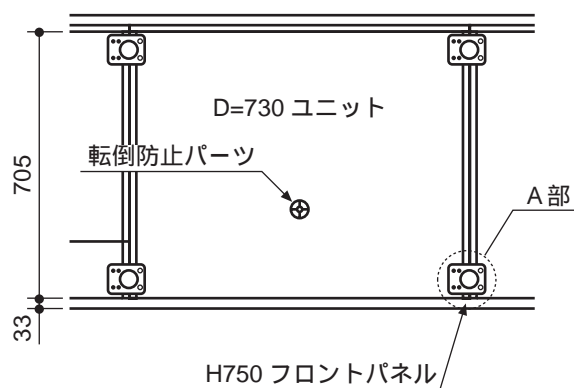


D=580 ユニットの
引出しユニット / 加熱機器ユニット



D=580 加熱機器ユニットの場合、ユニット背面のスペースで配管を行ってください。

D=730 ユニットの
シンクユニット / 引出しユニット / 加熱機器ユニット



A部については施工現場でアジャスター取付用の下穴を開け、アジャスターを取付けること。
（「アイランドキッチンレイアウト注意事項」を参照してください。）

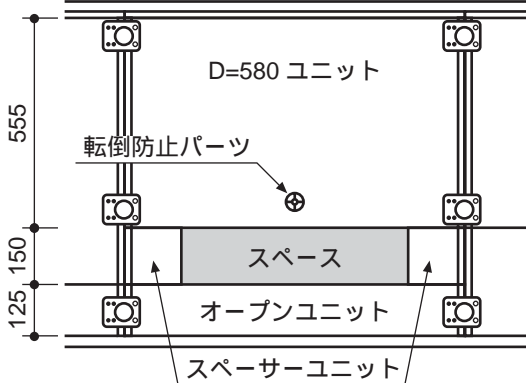
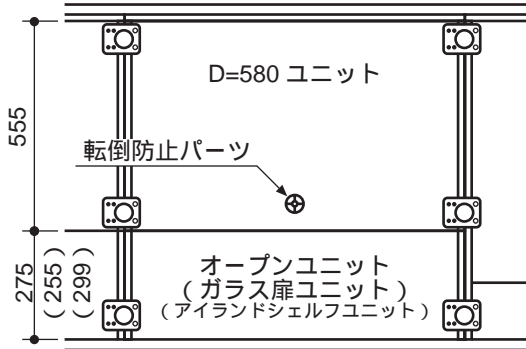
D=894 / 900 アイランドキッチンにフロントパネルを取付ける場合、H720 フロントパネルを使用してください。

オープンカウンターの裏面は対面側から 152mm の位置までしか化粧していませんのでご注意ください。

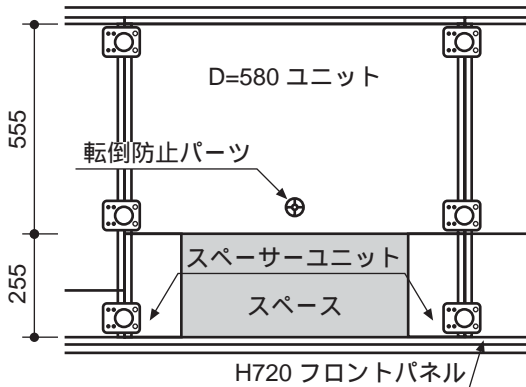
D=580 ユニットのの場合

引出しユニット / 加熱機器ユニット

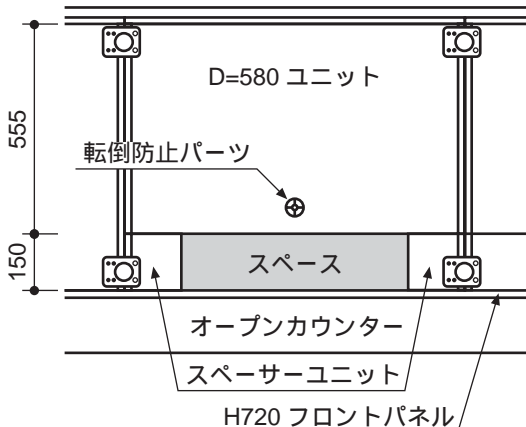
対面側がアイランドユニットの場合



対面側がフロントパネルの場合



対面側がオープンカウンターの場合

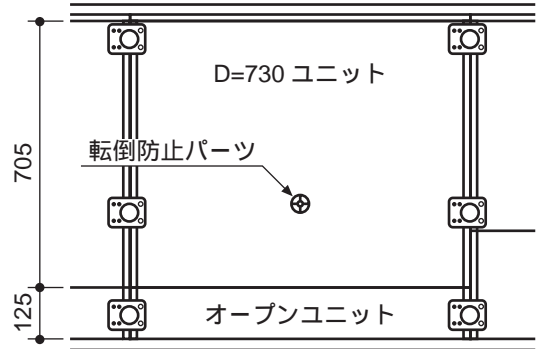


D=580 加熱機器ユニットの場合、ユニット背面のスペースで配管を行ってください。

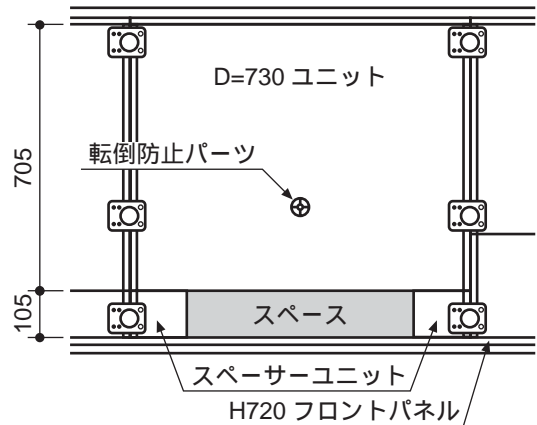
D=730 ユニットのの場合

シンクユニット / 引出しユニット / 加熱機器ユニット

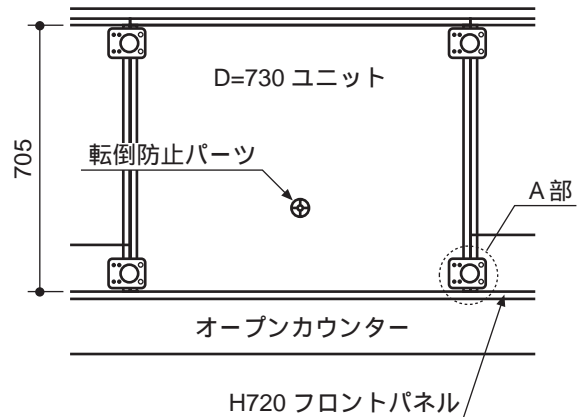
対面側がオープンユニットの場合



対面側がフロントパネルの場合



対面側がオープンカウンターの場合



A部については施工現場でアジャスター取付用の下穴を開け、アジャスターを取付けること。
(「アイランドキッチンレイアウト注意事項」を参照してください。)

D=1050 アイランドキッチンの場合

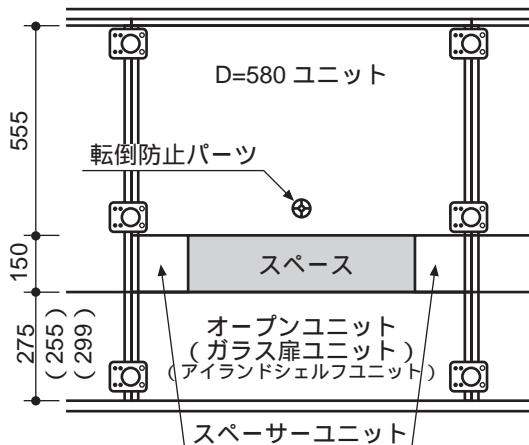
D=1050 アイランドキッチンにフロントパネルを取付ける場合、H720 フロントパネルを使用してください。

オープンカウンターの裏面は対面側から 315mm の位置までしか化粧していませんのでご注意ください。

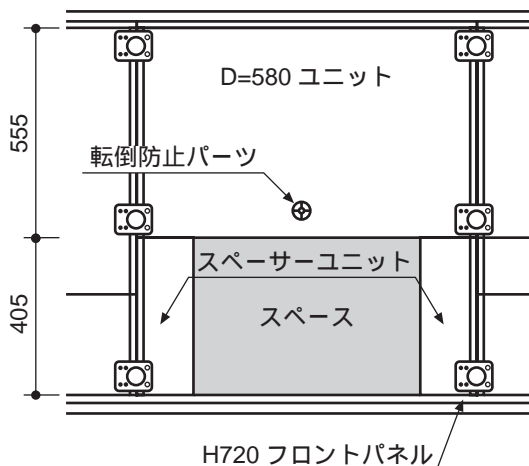
D=580 ユニットの場合

引出しユニット / 加熱機器ユニット

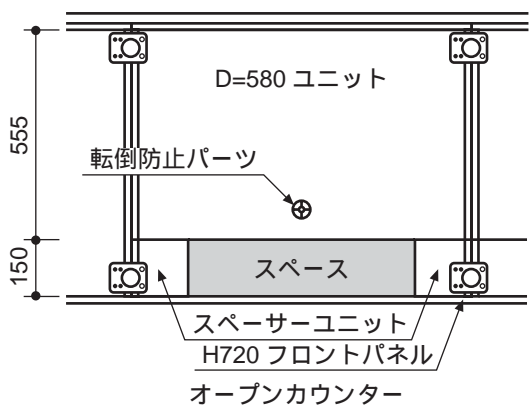
対面側がアイランドユニットの場合



対面側がフロントパネルの場合



対面側がオープンカウンターの場合

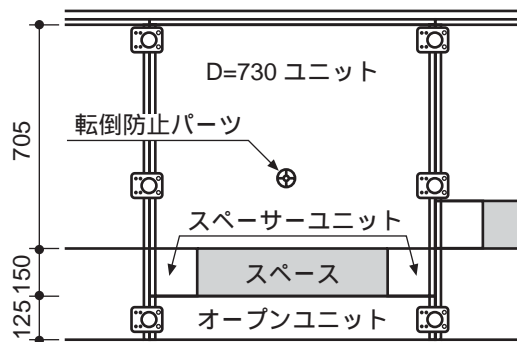
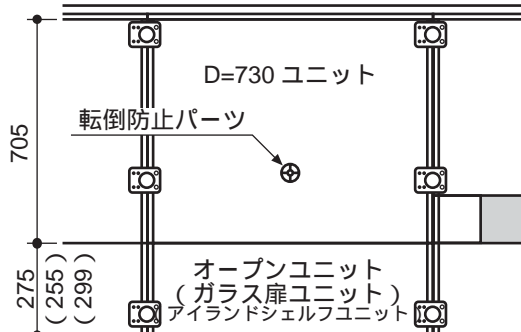


D=580 加熱機器ユニットの場合、ユニット背面のスペースで配管を行ってください。

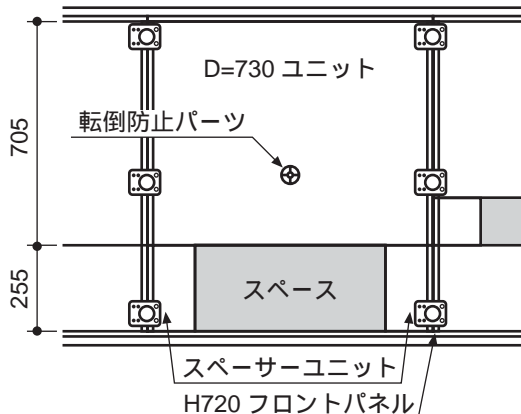
D=730 ユニットの場合

シンクユニット / 引出しユニット / 加熱機器ユニット

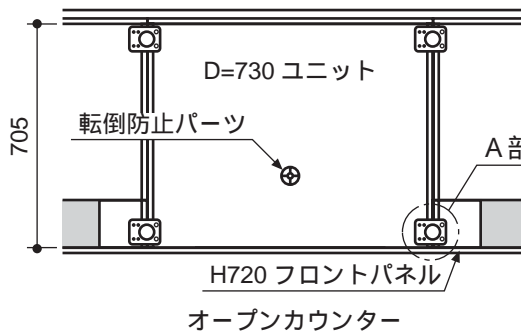
対面側がアイランドユニットの場合



対面側がフロントパネルの場合



対面側がオープンカウンターの場合

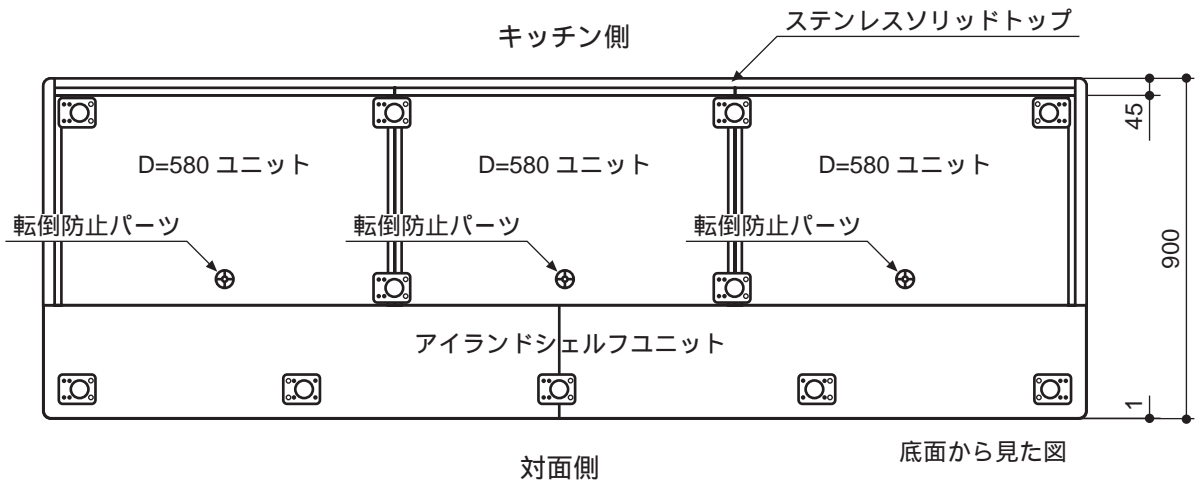


A部については施工現場でアジャスター取付用の下穴を開け、アジャスターを取付けること。
(「アイランドキッチンレイアウト注意事項」を参照してください。)

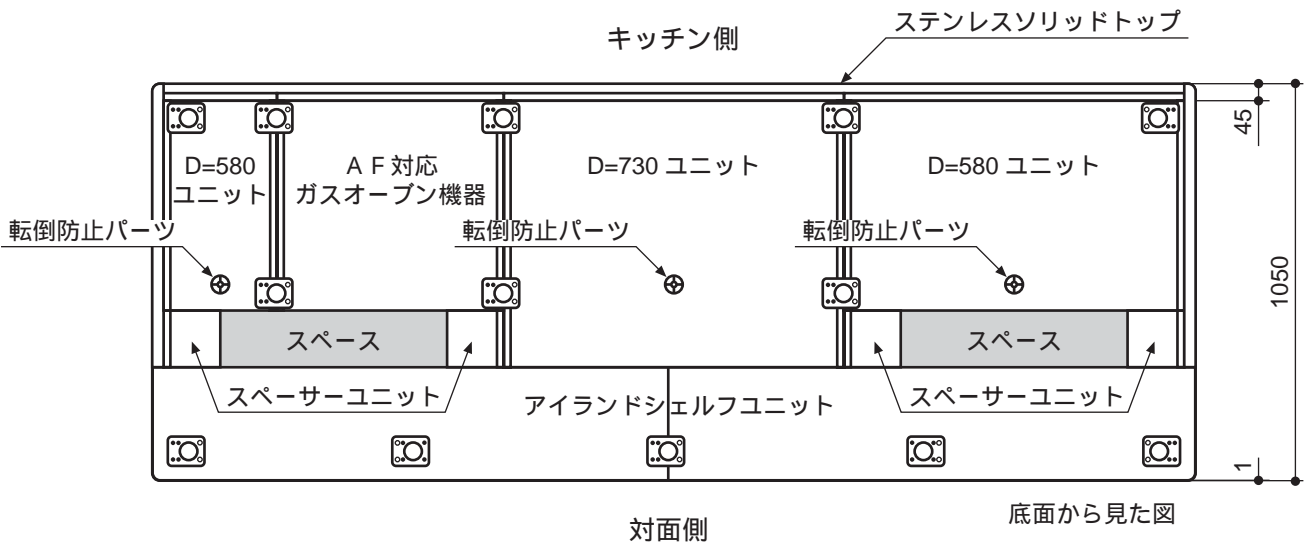
アイランドシェルフユニットをアイランドキッチンに組み込む場合

アイランドシェルフユニットは、D=900 / 1050 ステンレスソリッドトップの専用ユニットです。

D=900 アイランドキッチンの場合



D=1050 アイランドキッチンの場合



特殊な加熱機器をアイランドキッチンに組み込む場合

() 内寸法は、D=1050 アイランドキッチンの場合を示す。

IV-P60VG / IV-P90VG / NE-DB * * * の場合

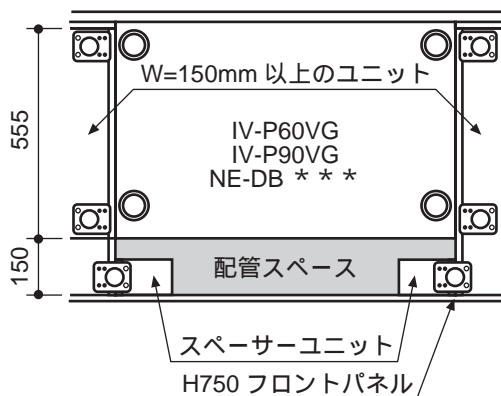
機器背面に D=105mm のスペーサーユニットを設置してください。

機器の両サイドには必ず W=150mm 以上のユニットを設置してください。

(キッチン全体の強度を保つため。)

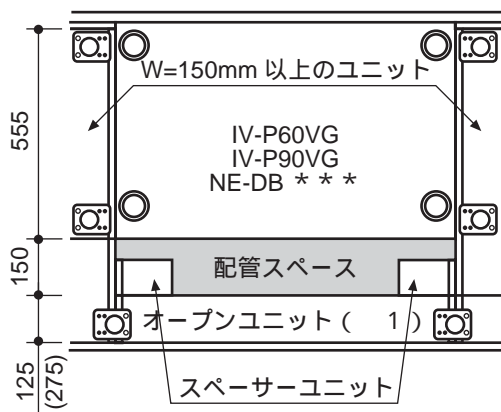
人工大理石トップに IV-P60VG / IV-P90VG を取付ける場合、機器背面側のトップはステンレストップ (DMTT-P * * * B) になります。

D=750 アイランドキッチンの場合



D=894 / 900 / 1050 アイランドキッチンの場合

キッチン全体の強度を保つため、対面側は必ずオープンユニット (1 : D=1050 の場合には、アイランドシェルフユニットまたは、ガラス扉ユニットでも可) を設置してください。

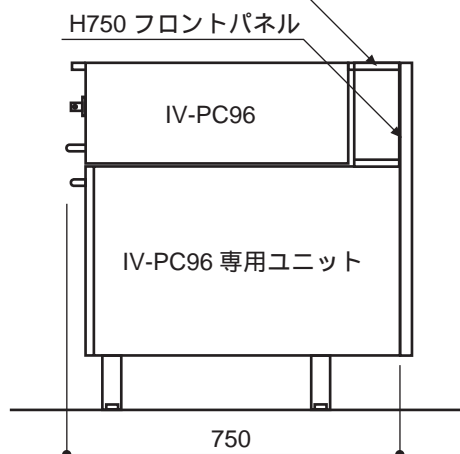


IV-PC96 の場合

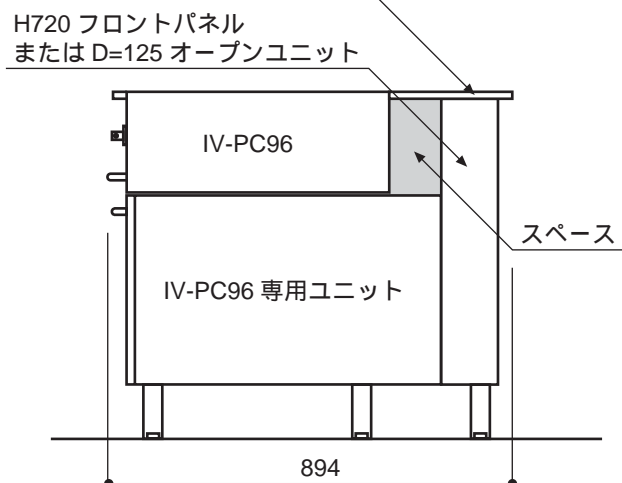
D=750 人工大理石トップを使用した
アイランドキッチンに組み込む場合

D=894 人工大理石トップを使用した
アイランドキッチンに組み込む場合

D=750 人工大理石ワークトップ
対応背面トップ (DGT-P90B)



D=894 人工大理石ワークトップ
対応背面トップ (DMTT-PC903B)



プルオープン食器洗い乾燥機付きユニットをアイランドキッチンに組み込む場合

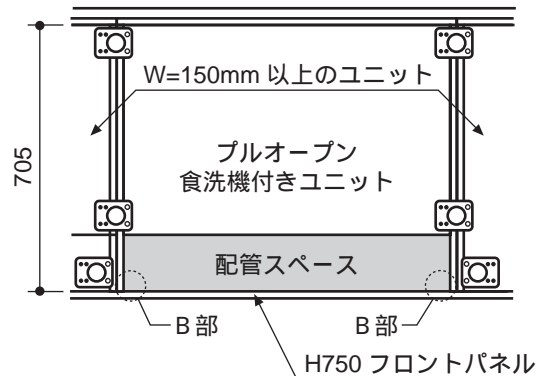
() 内寸法は、D=1050 アイランドキッチンの場合を示す。

プルオープン食洗機付きユニット背面のスペースは、配管を行うため、ユニットを取付けることはできません。

B部にはL金具を取付けて、プルオープン食洗機付きユニットの側板とフロントパネル、またはアイランドユニットと固定してください。

D=750 アイランドキッチンの場合

プルオープン食洗機付きユニットの両サイドには必ず W=150mm 以上のユニットを設置してください。



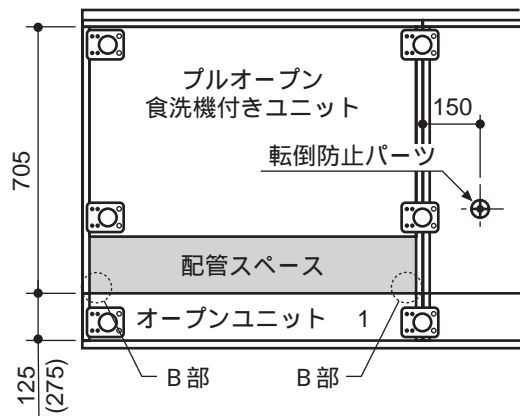
D=894 / 900 / 1050 アイランドキッチンの場合

・対面側がアイランドユニットの場合

プルオープン食洗機付きユニットをアイランドキッチンの端に設置する場合は、対面側に必ずユニットを取付けてください。

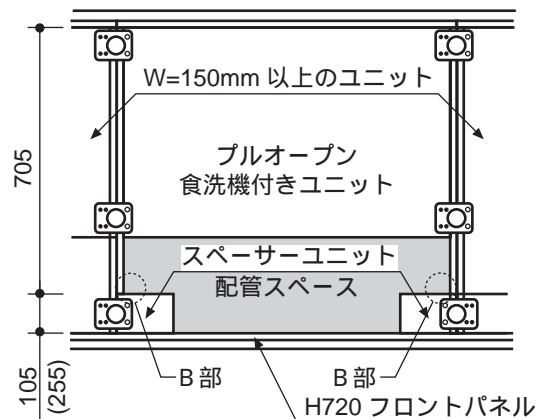
プルオープン食洗機付きユニットには転倒防止パーツが取付けられないため、隣のユニットの指定位置に取付けてください。

1 : アイランドシェルフユニットまたは、ガラス扉ユニットでも設置可能。



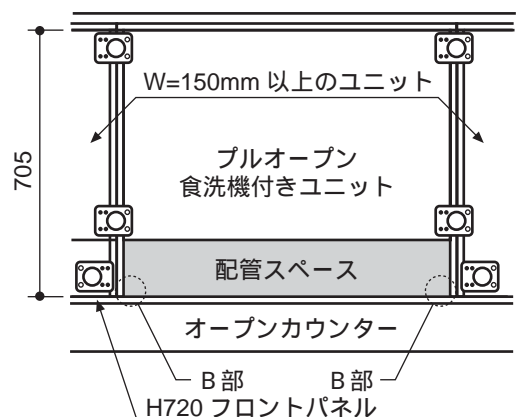
・対面側がフロントパネルの場合

プルオープン食洗機付きユニットの両サイドには必ず W=150mm 以上のユニットを設置してください。



・対面側がオープンカウンターの場合

プルオープン食洗機付きユニットの両サイドには必ず W=150mm 以上のユニットを設置してください。



FB6010TD / ML-G601W- * * * S をアイランドキッチンに組み込む場合

() 内寸法は、D=1050 アイランドキッチンの場合を示す。

機器の隣には必ずシンクユニットを設置してください。

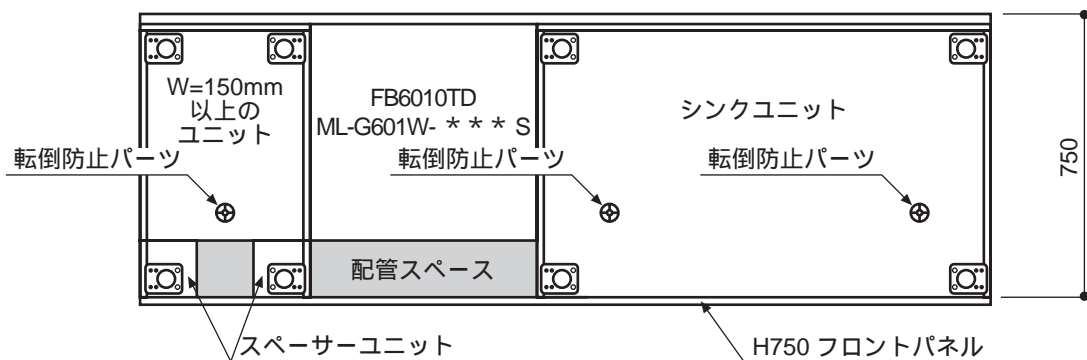
(配管上の問題により、シャワー水栓側に機器を設置することはできません。)

また、シンクユニットの反対隣側には必ず W=150mm 以上のユニットを設置してください。

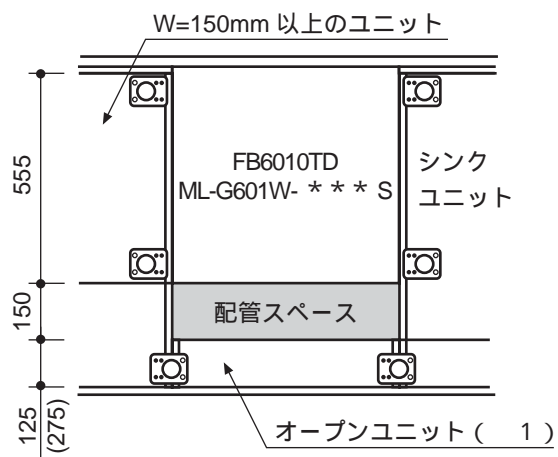
(キッチン全体の強度を保つため。)

D=750 アイランドキッチンの場合

レイアウト例

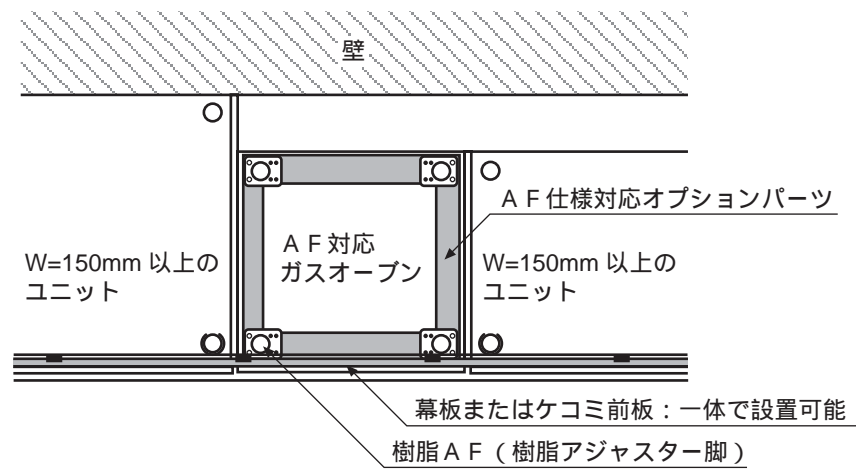


D=894 / 900 / 1050 アイランドキッチンの場合
対面側は必ずオープンユニット (1 : D=1050
の場合には、アイランドシェルフユニットまたは、
ガラス扉ユニットでも可) を設置してください。
(キッチン全体の強度を保つため。)



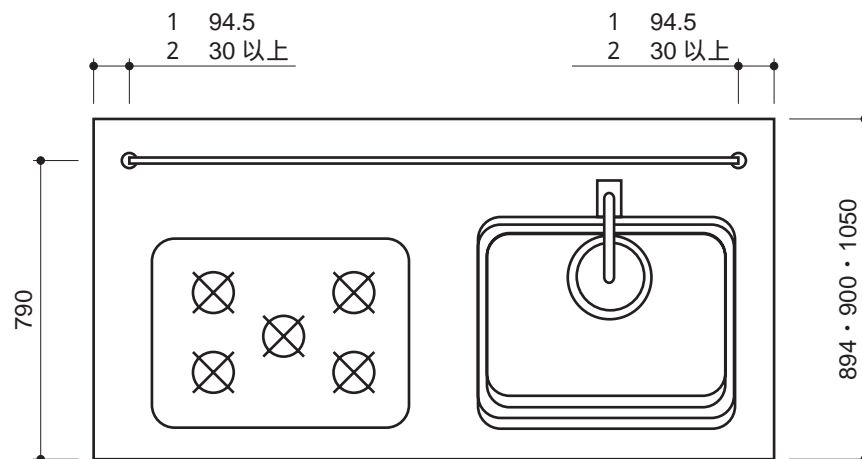
A F 対応ビルトイン機器を設置する場合

- ・ A F 仕様対応オプションパーツが設定されているガスオーブンは、樹脂アジャスター脚（樹脂 A F 仕様）を取付けることによって、ウイング A F およびステンレスカバー A F に対応可能です。



ガラスバックガードの設計条件

- 1 : シンク付きタボ / 加熱機器付きタボ / キッチンタボの場合。
- 2 : アイランドキッチンの場合。



トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。

トヨーキッチン&リビング株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山 6 - 4 - 10

<http://www.toyokitchen.co.jp>

ユーザーサポートセンター 東京・南青山
お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyo1.toyokitchen.co.jp

東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

P9WP-TRS59

06.8